

F—3 家庭の調理機器および食器

大妻女大家政	○神保	洋子
	小泉	純子
	渡辺	和子
	前川	当子
	村田	輝子

4. 家庭における食事の内容は千差万別であり、さらに、家族人員、住い、台所の広さなども日常食事形態に大きく影響すると考えられる。私達は食事の形態と調理機器ならびに食器の関係を検討するため調査を実施した。平均的な食生活をなすには、どれだけの調理機器と食器が最低限必要であるかなども検討したい。

2. 昭和43年5月20日～24日の連続3日間の世帯調査。対象・本学学生の家430世帯。回収312世帯（回収率73%）。調査法は所定の用紙を配布し、連続3日間の献立名、食品名、概量、調理方法、それに使った調理機

器，食器を記入してもらった。

3. ①調理機器使用状態。調理方法別機器使用回数から，家庭必需調理機器をみた。炊飯器，鍋，フライパン，支那鍋などの使用率が高く，1世帯当り4～6種類の機器を使う場合が多いことがわかった。②食器と食形態との関係。Ⅰ主食＋Ⅱ汁＋Ⅲ主菜＋Ⅳ副菜＋Ⅴ漬物・サラダ・果物の食形態をスケールとして，食器を組み合わせさせて検討した。種類別食器の使用頻度順をスケールに比べてみると，Ⅴ，Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，の順に食器が合致して使用されていることがわかった。③朝，昼，夕別にみた食器の種類と数。